



# やなぎしましゅう 柳島小だより

令和6年 12月24日  
茅ヶ崎市立柳島小学校  
校長 赤池 理

学校教育目標 — 21世紀を担う柳島小学校の子どもたち —  
豊かな心を持ち、意欲的にたくましく生きる子どもの育成

早いもので、もう2024年が終わろうとしています。1月1日の能登の大地震で始まった366日は、いろいろなことがありました。みなさんにとって今年の重大ニュースは何だったでしょうか？事件や事故、自然災害や闇バイト問題などの暗い話もありましたが、そればかりではなく、新紙幣の発行や、パリオリンピックでの日本人選手の活躍、メジャーリーグの大谷翔平選手の5050などの明るい話題もたくさんありました。

学校では、12月7日の土曜参観から、学校へ行こう期間を設けました。期間中、たくさんの方に来校いただき誠にありがとうございました。普段の授業の様子をご覧になっていただきましたが、学年や学級によっては発表会形式の授業もあり、本番に向けて、子どもたちも一生懸命に練習を行い、見事成功へとつなげました。参加型の授業もあり、保護者の皆様にも子どもたちと一緒に楽しんでもらいました。

## 謎解きウォークラリー

今年の全校集会は、たてわりグループによる「謎解きウォークラリー」でした。グループ全員で協力して、問題用紙を探し、その問題を解いていきます。児童会委員会の皆さんが考えた問題は、なぞなぞや歴史の問題、先生や学校に関する問題など、バラエティーに富んでおり、とてもおもしろかったです。みつけるだけでも大変だったので、あっという間に時間が過ぎていきました。学年に関係なく、みんなでワイワイと楽しんでた姿がとてもよかったです。児童会委員会のみなさん、ありがとうございました。



## 身を守る方法を学ぶ

17日に、1年生を対象に「非行防止教室」が開かれました。西浜高校の演劇部の生徒さんが来てくれて、劇を通して「不審者対応」や「友だちとの接し方」について、わかりやすく説明してくれました。



また、20日には5年生を対象に「情報モラル教室」が開かれました。個人情報情報の取り扱いやライントラブル、課金に至るまで幅広く話を聞くことにより、これからの生活に必須となる「インターネットとのつきあい方」について学びました。



未来には何が起きるかわからないから、来年のことを話すと鬼が笑うなんて言いますが、わからないからこそ、希望をもって新しい年を迎えたいと思います。

今年一年間ありがとうございました。それでは、良い年をお迎えください。